

【個人】

提出 令和5年(2023年)7月17日

山行報告書

山行報告者：東海林

山域・山名： 苗場山 2133m		新潟県湯沢町津南町 長野県栄村	
入山日又は期間：令和5年 7月 15日(土) ~ 16日(日) (1泊2日)			
プラン担当者 正： 高山		副：	
参加者	L： 高山 記： 報：		
	久保 東海林		
男 1名、女 2名、計 3名			
天候： 曇り 晴れ			
月日()	集合時間： 午前 5時55分		集合場所：北上尾駅西口
7月15日(土)	1日目 萩川登山口 9:00・・和田小屋 9:29・・中ノ芝 11:54・・神楽ヶ峰 13:03・・苗場山 14:55 (散策) 苗場山ヒュッテ泊 歩行時間6時間		
7月16日(日)	2日目 苗場山ヒュッテ 6:30・・神楽ヶ峰 8:03・・中ノ芝 9:00・・和田小屋 11:27・・登山口 歩行時間5時間半		
装備と食糧	共同装備： なし		
	車提供者： 久保		
	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、ツェルト、地図、インナーシート、虫よけ、虫よけネット、 水、スパッツ、グローブ、帽子、ストック、		
個人食： 昼食 非常食			

感想 & 注意事項	<p>当日の天候は曇り時々小雨。登山道は歩き始めは樹林帯に岩がゴロゴロあるところに雨が流れて沢登のような道と木道で、中ノ芝までずっと歩きにくい。中ノ芝からは視界が開きお花畑もあるので予習した花を見つけて楽しみながら進む。</p> <p>神楽ヶ峰からは苗場山が見え、あの急斜面を登れるのかと心配しながら、雷清水で冷たい水でのを潤し苗場山山頂までの標高差 250m 程の急登を登りきった。</p> <p>苗場山山頂は広い台地で、大小の池塘があちこちにあり、ヤチスゲが田んぼの苗みたいに生えていて、それが苗場山の由来でもあると知る。</p> <p>夜ごはんまで時間があるので湿原を散策し池塘とワタスゲ等の高山植物を堪能する。</p> <p>夜ごはんはカレーとポテトサラダ。ビールとともに美味しくいただく。</p> <p>日の入りは雲が厚くはつきりは見えなかったが、ピンク色に雲が色付きキレイだった。</p> <p>19時半就寝。</p> <p>2日は4時半に日の出を見るため頂上展望デッキで待機したが、雲が厚くまたはつきりとは見えなかった。</p> <p>6:30に出発。晴れて朝から暑い。急登で大変だった登山道はあっけなく下山できたが、中ノ芝からの樹林帯の岩ゴロゴロの登山道が長く感じ、私は足を踏み外し転倒してしまった。転倒したところに木か岩の尖ったところに左腰を打撲してしまい痛かったが、何とか下山できた。打ったのは腰だけ。やっとな右の腰が治ってきたのに、また負傷してしまったので、本当に健康でいられることの大切さをしみじみ感じる。</p> <p>帰りは立ち寄り湯でさっぱりして帰りました。</p> <p>1泊2日 距離 12.7km 歩行時間 11時間半 標高差 775m</p> <p>高山さん計画をありがとうございます。久保さん運転ありがとうございました。</p> <p>またよろしく願いいたします。</p>
-----------	--